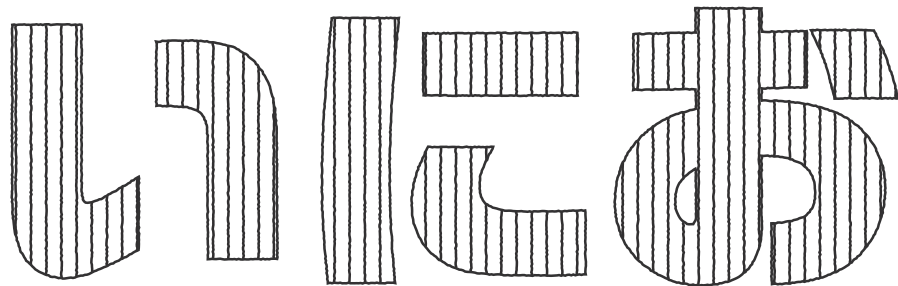
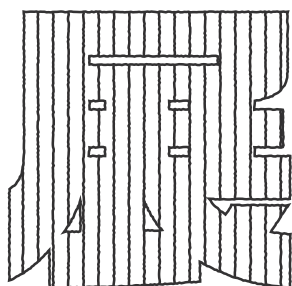


観覧時間 | 10時～17時 ※金曜日は20時まで開場
休館日 | 毎週月曜日、11月10日(木)、12月8日(木)
観覧料 | 一般 600円
大学生・高校生・中学生 300円
小学生以下 無料
協力 | 小学館



2022年
10/22(土)～
12/25(日)



the personality of the city

町田市民文学館ことばらんど

〒194-0013 東京都町田市原町田4-16-17

TEL:042-739-3420 FAX:042-739-3421

JR横浜線町田駅ターミナル口から徒歩8分 / 小田急線町田駅東口から徒歩12分

※ 新型コロナウイルス感染症
の拡大状況により会期が
変更になる場合があります。



浅野いにお展

浅野いにお×カツセマサヒコ 記念対談

日時 12月4日(日) 18:30~20:00
 会場 町田市民フォーラム3Fホール
 定員 160名(抽選)
 申込み 11月1日(火) 正午から
 11月14日(月)まで
 イベシスで受付
 (イベントコード: 221101B)

イベント
 その1
 記念対談

浅野いにお 記念トークショー

日時 12月11日(日) 18:00~19:30
 会場 町田市民文学館2F大会議室
 定員 80名(抽選)
 申込み 11月1日(火) 正午から
 11月14日(月)まで
 イベシスで受付
 (イベントコード: 221101C)

イベント
 その2
 記念講演会

映画「ソラニン」上映会

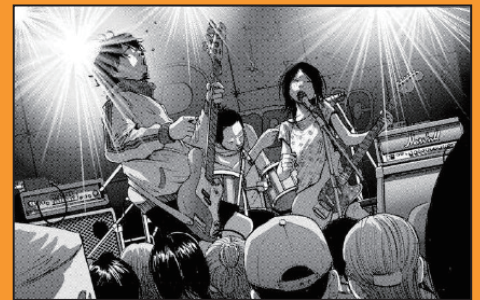
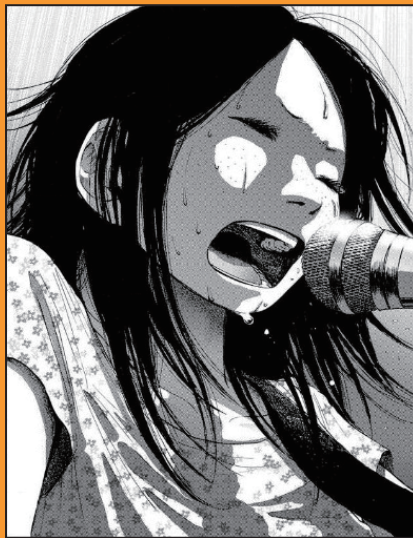
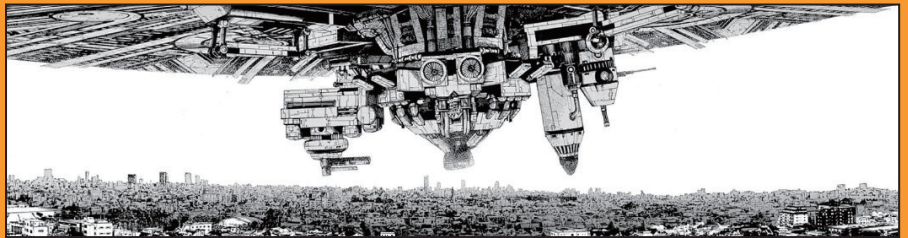
日時 11月26日(土) 18:00~20:15
 会場 町田市民フォーラム3Fホール
 定員 160名(先着順)
 申込み 11月1日(火) 正午から
 イベシスで受付
 (イベントコード: 221101D)

イベント
 その3
 映画上映会

「ソラニン」や「おやすみプンプン」「デッドデッドデーモンズデデデデストラクション」など、常に話題作を発表し続ける漫画家・浅野いにお。先進的なデジタルツールを駆使し、新たな作画表現を模索し続ける一方、彼が紡ぎ出すのは、誰もが心の奥底に抱える不安や葛藤、日々の暮らしの中で感じる疑問や怒りをもとにした、半径5メートルの物語です。こうした人間の複雑な内面を描くにあたり、彼が大切にしているのが、作品の舞台や主人公が暮らす街の持つイメージ。「デッドデッドデーモンズデデデデストラクション」に登場する中川風蘭(おんたん)と小山門出は世田谷に住んでいて、吉祥寺や新宿を文化圏にしている幼馴染の女子高生。一方、「ソラニン」で種田と芽衣子が暮らすアパートは小田急線沿線にあり、彼らが演奏をするライブハウスは町田にあります。そして、「おやすみプンプン」で主人公プンプンが暮らすのは、同じく町田の新興住宅街です。このように作品の舞台はすべて東京の郊外に位置するベッタタウンですが、確かにそれぞれの登場人物の人格は異なっています。本展は、こうした作品の舞台や街のイメージ、そこに暮らす人々に着目しながら、改めて浅野いにお作品の魅力に迫る展覧会です。作品の舞台となる東京郊外の街々、そこに登場する人々は彼の目にはどのように映っていたのでしょうか。想像しながら展示をお楽しみください。

浅野いにお

漫画家。1980年、茨城県生まれ。1998年、ビッグコミックスピリッツ増刊Manpuku!(小学館)でデビュー。2002年より月刊サンデーGX(小学館)にて「素晴らしい世界」の連載を開始。代表作に「おやすみプンプン」「零落」などがあり、「ソラニン」「うみべの女の子」は実写映画化もされた。2014年から2022年2月まで週刊ビッグコミックスピリッツ(小学館)にて「デッドデッドデーモンズデデデデストラクション」を連載し、第66回小学館漫画賞の一般向け部門と、第25回文化庁メディア芸術祭のマンガ部門・優秀賞を受賞した。



町田市民文学館ことばらんど

〒194-0013 東京都町田市原町田4-16-17

TEL: 042-739-3420



JR 横浜線町田駅ターミナル口から徒歩8分 / 小田急線町田駅東口から徒歩12分

※イベント参加には、開催日のチケットが必要です。詳細は当館ホームページをご覧ください。

@machida_kotoba

で最新情報配信中!

